

## 令和5年度第1回狭山市地域公共交通会議 会議録

開催日時 令和5年4月25日（火）午前14時00分～午前15時30分

開催場所 狭山市市民交流センター3階 第1ホール

出席者 吉田敦委員（会長）、久保田委員（副会長）、関根肇委員、藤田委員、霜村委員、岩澤委員、中野委員、関口委員、吉田三男委員、増田委員、栗原委員、佐藤委員、烏山委員、高橋委員、苅谷委員、坂井委員、小河委員、北条委員、瀧澤委員、古川委員、梅田委員、中畠委員、大石委員、村井委員、神田委員、鷹野委員、田中委員（27名）

欠席者 吉田樹委員（1名）

代理出席者 関根康洋委員の代理：秦野氏（1名）

事務局 田中市民部長、増田市民部次長、日出間交通防犯課公共交通担当課長、堀越主査

傍聴者数 1名

議題等

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 会長あいさつ
5. 副会長の選出
6. 自己紹介
7. 議題
  - (1) 令和4年度公共交通の実績報告について
  - (2) 狭山市地域公共交通計画の策定について
  - (3) その他
8. 閉会

## 会議の経過、質疑等の内容

### 1. 委嘱状交付

市長から各委員に委嘱状を手交した。

### 2. 市長あいさつ

### 3. 会長あいさつ

協議会設置要綱第5条第2項の規定に基づき、吉田敦委員が会長となる。

### 4. 副会長の選出

協議会設置要綱第5条第2項の規定に基づき、会長から久保田委員が副会長に指名された。

### 5. 副会長あいさつ

### 6. 会議の成立及び会議の公開の確認

委員総数29名のところ、委員本人の出席が27名、代理出席者1名の合計28名が出席していることから、会議が成立していることを確認するとともに、会議は、令和4年度の公共交通の実績報告をはじめとする報告事項が中心となることから、原則どおり公開することが決定された。

以下、吉田会長が議長となり、議事を進行した。

## 報告事項（1）令和4年度公共交通の実績報告について

### <概要>

鉄道、路線バス、市内循環バス茶の花号、ほりかねデマンドバス、タクシーなどの市内の公共交通について、利用実績を報告した。

### <事務局>

○市内循環バス茶の花号の令和4年度の収支状況、利用状況について、資料1に基づき説明を行った。

○堀兼地区のデマンドバス実証運行の令和4年度の登録人数、利用人数、利用状況、収支状況などの利用実績を、資料2に基づき説明を行った。

### <質疑>

委員 ほりかねデマンドバスについて、2月に利用者が増えている。需要が下がる時期だが、利用が増えた要因はあるのか。

事務局 予約受付可能時間を1時間前までとしていたが、オペレーションセンターやドライバーも業務に習熟してきたことから、利便性向上のために2月1日から30分前までへと変更した。また、そのことに合わせて1月に地区自治会に協力してもらい、改めてチラシの全戸配布を行った。これらの効果が大きいと考えている。

- 委員 工夫すれば利用が増えるという貴重なデータだと思う。
- 委員 デマンドバスのリピーター率はどのくらいなのか。
- 事務局 本日の資料では詳細な分析を用意していないため、今後検証する。利用状況を見ているなかでは、ヘビーユーザーがいる一方で、利用頻度が少ない人もいる。
- 委員 デマンドバスと茶の花号について、収支率について目標はあるのか。
- 事務局 デマンドバスについては、新たな公共交通の導入方針において目標収支率 30%を示しており、1年目は10%、2年目は20%、3年目は30%としている。現在の収支率は、年度で見ると約3%であるが、9月以前の運行の準備期間や10月の無料運行期間など運賃収入がない期間があった。月別に見ると2、3月は6%まで上昇していることから、引き続き利用促進や経費削減を検討し、目標収支率を達成したい。市内循環バス茶の花号については、収支率25%を目標としている。コロナの影響もあり目標には届いていないが、本協議会の中でデマンドバスの利用実績も踏まえながら、運行のあり方を検討していきたい。
- 委員 前回の協議会の際、登録者の利用率が低いということで、利用者の体験談を周知PRして、利用率を上げるという報告があったと思う。取り組み内容を教えてほしい。
- 事務局 車内掲示やメール配信しているデマンド通信というチラシのほか、1月に全戸配布したチラシのなかでも、体験談などを周知PRしている。
- 委員 茶の花号はコロナの影響もあり、平成30年から比較すると令和4年度は7割程度の利用となっている。西武バスは、コロナの影響を受けてどういった状況なのか。
- 委員 2022年度と2019年度を比較すると、収入は9割程度まで戻ってきている。事業エリアが都心部から飯能までを含めての9割なので地域差がある。生活様式の変更で、これ以上の上積みは望めないと考えられる。
- 委員 デマンドバスの乗降ポイント別の利用状況を示しているが、利用の多い主要な施設の概要を説明して欲しい。
- 事務局 新狭山駅南口、入曽駅東口については、鉄道への乗り継ぎのほか、駅周辺施設

の利用が考えられ、またバスへの乗り継ぎも可能となっている。ベルクベスタ狭山店については、大型のスーパーマーケットで、日用品が購入できるほか、衣料品店なども併設されている。あぐれっしゅげんき村は地区内の農産物の直売所であり、利用促進策として特典品の提供のご協力をいただいていることから利用が伸びている。西武観光バス狭山営業所は、狭山市駅への乗り継ぎ拠点となるバス停が併設されており、交通結節点となっている。

委員 デマンドバスはタクシーや路線バスとの競争を避けるため、狭山市駅には行かない仕組みにしている。西武観光バス狭山営業所の利用が意外と多いという印象がある。デマンドバスと既存の公共交通が持続可能な形で進めていくことが理想だと考えるが、西武バスとしてはどういった印象か。

委員 乗務員が不足していることもあり、役割分担をしていく必要がある。バス、タクシー、デマンドバスで共存共栄していきたいと考えており、この利用状況の結果については安心している。

議長 堀兼地区の代表者からの意見をお願いしたい。

委員 堀兼地区の全員に周知できていない部分もある。公民館だよりや自治会を通じたチラシの配布を行っているが、自治会に加入していない人には届きにくい状況もある。今後も利用者の声を聞きながら、一歩前に進んだ取組をして、地域に寄り添った交通システムを確立させたい。5月10日に報告会もあるので、ぜひご参加をお願いしたい。

#### <西武バス株式会社>

- コロナの影響や新しい生活様式の浸透により、需要が減少している。
- 収入はコロナ前の約90%まで回復してきている。
- 大型2種免許所持者の減少と高齢化が進んでおり、乗務員不足が問題となっている。
- 今後は鉄道、バス、タクシー、新たなモビリティが役割分担をしながら地域の交通網を維持していくことが重要と考えている。
- 狭山市内の系統は全て赤字の状況となっている。

#### <狭山市タクシー協議会>

- 利用者はコロナ前の約70~80%まで回復してきているが、夜間の利用が回復しない状況が続いている。
- 乗務員の高齢化が進み、平均年齢が60歳となっており、乗務員不足が問題となっている。利用者が利用したい時に対応しきれないという現状がある。

<西武鉄道株式会社>

- 輸送人員は前年度比 10%増加している。
- リモートワークの広がり等により、定期の利用回復が限定的となっているが、定期外は顕著に回復している。
- 狭山市内の鉄道駅を見ると、1日あたりの乗降人員はコロナ前と比較して、1～2割は回復していない。

## 報告事項（２）狭山市地域公共交通計画の策定について

### <概要>

計画策定の趣旨、視点、期間、体制、スケジュール（案）について、資料3に基づき説明を行った。

### <質疑>

委員 色々なお話があり、厳しい状況を踏まえた中で議論をしていくことが必要となる。その中で、ヒントになると思ったことが、デマンドの目的地の1つがバス事業者の営業所となっていることである。公共交通が共存していくことが必要であり、これを前提とする計画とすることが必要となる。公共交通空白地域をサポートするデマンドバス、基幹となる路線バスをどう結びつけていくのか、乗り換えポイントをどこに配置していくのかを議論していくことが必要となる。失敗事例はそれらの接続が悪く、乗り換えポイントでバスが来るまで延々と待つようなケースであり、成功事例はそれらのダイヤを合わせたり、快適に待つことができる結節点を構築したりするなどスムーズな接続を提供しているケースである。細かな心遣いをするシステムができれば幸せな移動ができる。

委員 高齢者対策を考えているようだが、他地域の事例なども見ると、若者を呼び込む工夫をして地域活性化を行っているところもある。高齢者対策は必要だが、高齢者以外の若者を呼び込めるようなことも検討していくと考えて良いのか。

事務局 高齢者対策ということだけでなく、公共交通により人の流れを生み出し、まちの賑わいを創出するという視点も含めて、計画策定に取り組んでいく。

議長 MaaSのように、連続性を持たせて公共交通サービスを提供するという考え方が重要になる。若者を呼び込むという点では、移動手段がないところに住んでもらえない。そうした視点でいかに有効な移動サービスが提供できるかということが、人口減少対策にも繋がると考えている。

～ 副会長挨拶により閉会 ～

## 配布資料等一覧

- 次第
- 座席表
- 狭山市地域公共交通活性化協議会委員名簿
- 狭山市地域公共交通活性化協議会設置要綱
- 資料 1 令和 4 年度市内循環バス茶の花号実績報告
- 資料 2 堀兼地区デマンドバス実証運行利用状況報告書
- 資料 3 狭山市地域公共交通計画の策定について
- 資料 4 シンポジウム開催通知